## 共同診療計画書(乳癌術後地域連携パス)

広島大学病院	担当医:	作成月日

ID : 患者氏名 :

生年月日:

連携先病院: 担当医:

適応基準 乳癌の状態									  治療法   手術日: 年 月 日    <b>連携期間: 年~ 年</b>							
週心垄	\$ <del>+</del>		組織型:				核グレード:						」連携期间: 平~ 平  ★術後10年目以降ホルモン治療等継続の場合、治療終了まで連携期間とする			
			病理浸潤腫瘍径:		cm		リンパ管侵襲:		術前化学療法	<b>t</b> :			適応外基準		ゴール設定	
乳癌体	後患者	百	腋窩リンパ節転移: エストロゲンレセプター: プロゲステロンレセプター: ハーツー蛋白:	( %)		静脈侵襲: Ki67: (%) 病期:		術後広射線療法: 術後ホルモン療法: 術後化学療法:			型。 開幕 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開 開		再発がない 術後(内分泌)療法を継続できる 術後後遺症を発見し、対処できる 術後療法の副作用を発見し、対処できる			
施設名			施設名	連携先	連携先病院		連携先病院	広島大学病院	連携先病院	広島大学病院 または 連携先病院	連携先病院	広島大学病院	連携先病院	広島大学病院	連携先病院	広島大学病院
	(術後)				1年目				2年目		1	3~5年目		6~10年目		
			···· <i></i> 受診予定	連携開始	55	6ヵ月後		1年後		1年6ヶ月後		2年後	4 0 5 5	年1回毎	1 0. 0.5	年1回毎
			年 月 日	1~3ヶ月毎	年 月	1~3ヶ月毎	年 月	1~3ヶ月毎	年 月	1~3ヶ月毎	年 月	1~3ヶ月毎	月	1~6ヶ月毎	月	
<b>,</b> 幸			再発兆候の発見	0	0	ΟΔ	0	Δ	0	ΟΔ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
達 成	術を		表法の副作用の発見と対処	0	0	ΟΔ	0	Δ	0	ΟΔ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
目目	術後後遺症の発見と対処		後遺症の発見と対処	0	0	ΟΔ	0	Δ	0	ΟΔ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
標-	術後連携によるフォローアップ			0	0	ΟΔ	0	Δ	0	ΟΔ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
投 薬 –			処方	□ホルモン剤	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ОД	0	ΟΔ
*			服用状況チェック	□服用状況確認 □併用薬チェック	0 0	ΟΔ ΟΔ	0 0	Δ Δ	0	ΟΔ ΟΔ	0	Δ Δ	0 0	Δ Δ	0	Δ Δ
			術後疼痛	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無
			更年期症状 帯下の変化 肝機能障害	0	0	ОД	0	Δ	0	ОД	0	Δ	0	Δ	0	Δ
I.			<u>//                                   </u>					ΟΔ			i  !	ΟΔ	<del> </del>	ΟΔ		ΟΔ
	問診		骨塩量 (LHRHアゴニスト投 与例のみ年1回)					ОΔ		<u> </u>		ΟΔ		ОД		ОД
	AI	痢	更年期症状 関節痛・こわばり 肝機能障害	0	0	ΟΔ	0	Δ	0	ΟΔ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
診			骨塩量 (ホルモン療法例の み年1回)					ΟΔ				ΟΔ		ΟΔ		ΟΔ
診察検査	視 •		局所再発 リンパ節再発	0	0	ΟΔ ΟΔ	0	ΟΔ ΟΔ	0	ΟΔ ΟΔ	0	0	0	0	0	0
盆	視 • 触 診	患肢	・	0	0	ΟΔ	0	Δ	0	0Δ	0	Δ	0	Δ	0	Δ
ŀ			一般(抗がん剤治療例のみ)				1	ΟΔ		ΟΔ		ΟΔ		ΟΔ		ΟΔ
	4		AOT、GPT、LDH、T.chol、TG) ホルモン療法例のみ)	<del> </del>	0	ОД	0	ΟΔ	0	ОД	0	ОД	0	ΟΔ	0	ΟΔ
,	<u></u> 検	腫瘍	マーカー(CEA・CA15-3他)	<b>-</b>	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ
- 1	查		マンモグラフィー					ΟΔ				ΟΔ		ΟΔ		ΟΔ
		心エコー	-(ハーセプチン投与例のみ)		0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ	0	ΟΔ		○△(3ヶ月毎)		
			温存乳房、腹部)、骨シンチ レントゲン、CT、PET、MRI	( 適宜 )												
	, 01	リアンス	/ - CIAFEIAMIN	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無	有 無